

第61回

全国保育問題研究集会
京都集会

速報

その3

はじまる一歩

～京都保育研実行委員会～



みなさん!!

集会のかわりか? でしょうか!?

おしん



広島のみなさんから
たしごのメッセージ届いて
います♡♡♡

広島: 平田さんより

京都の皆さんの保育研集会の開会おめでとうございます!! ご苦労様~!! この日を迎えるまで、大変な思いをされたことと想いますか? オープニングの歌からは元気をもらい、集いをいっほいい感じました♪皆さんの笑顔いっほいの映像が京都の心意気が届いてきましたよ!! 今度の土曜日 日曜日も集みにしています。

広島: 櫻井さんより

いっほは始まりましたね! コロナ禍で京都の仲間がづなっていることを感じるオープニングでした。司会の方の京都弁に少しだけ京都に行くと気分になれました。

広島: 吉川博子さんより

「基調提案をパソコンの前で、ヒビ音に聞いて、意外にいいなと思いました。今までの基調提案は頭の上を素通ししていた。今回、講師の言語と文字がわかりやすく、特に平松先生の話は先日聞き逃していたので良かったです。私たちの「やりたい保育」をちゃんと追及して行きたい。聞いただけでは忘れるので、誰かとしていっほい身につかいたい」と思っています。

広島: 花ちゃんさんより

笑顔いっほい歌う京都の先生方に元気をもらえました。今年も集えたいけれど、いろいろなところで繋がっているのだなー!! と嬉しくなりました。

お花は
服たん!



お花少ないけれど

雰囲気わかってるから!

記念講演

食と農の歴史から考える子どもの未来

京都大学人文科学研究所准教授

藤原辰史氏



広島：ちはやさんより

記念講演での藤原先生のお話から
ハッとさせられました。私は現在4歳
児の担任をしていて、子どもたちと丸くな
って座り、互いに顔を見ながら話をす
ることがあります。その日手にもうしても担任
の声に気持が向かない子、隣の子と
おしゃべりしている子がいて「先生のお話を
聞いてね」と声をかけると、隣の子もサ
カスの話を聞いて、子どもたち同士で
今おもしろい話をしていると気づき合ったり、
共感し合ったりして、友だちとの会話が発展
していきいんだ！円く座って互いの
顔を見合うことが出来るからこそ、大
人の話を聞いているかにこだわり
せず、友だちにも目が向いて共感
し合っている姿にもスポットをあててみ
ようと視野を広げることができました。
ありがとうございました！

愛知：里子、りさんより

藤原辰史さんの記念講演聴きました。
「キーワードはサーカスの話だ」とても
興味深く考えさせられました。見てもら
おう、聞いてもらおうと子どもたちと面と向
かって注目してもらう形をとりますが、サカ
スのように「囲んで」見てもらったり話し合
ったりの場を作れたら面白いなあって
思いました！

京都：木本かなさんより

サークルには、円と縁、保育園としての保
育園になるのか！？などのお話もありまし
た。
人と人が繋がり、それが円になっていくとい
うことはとても難しい行為であり、一つには
丸くなること、完成形のように感じて生きていく。
食は全ての中核。だから保育園に給食室があ
ることの重要性や、同じものを食べられること、一緒
やな、美味しいなと共有できるのも繋がりを
心も身体も丸くしてくれる行為。食はやはり
重要な、保育園給食の重要性を強く感じました。

京都：宮田さんより

二つお話を聞いて...が思い通りに行かない時
本当に必要なTPを考へるチャンスになると聞き
震えました。本領発揮のチャンス！と前向き
な藤原さんの笑顔に元気をもらった講演で
した。よし！元気で頑張る！！

まだまだ感想が届いています!! 速報号外2号で紹介致します!! (はて書かおす...)

